opusdei.org

聖ホセマリアの生涯 - 41

内戦後権力の座に着いて新しいスペインの再建に当たったのがフランコ将軍です。同じ年の9月、ヨーロッパではソ連とドイツがいきなりポーランドに侵入し、第二次世界大戦が始まりました。

2024/03/23

過去の記事はこちらから

内戦後権力の座に着いて新しいスペインの再建に当たったのがフランコ

将軍です。同じ年の9月、ヨーロッ パではソ連とドイツがいきなりポー ランドに侵入し、第二次世界大戦が 始まりました。1940年春にはドイツ は破竹の勢いでほぼ西欧全域を征服 し、ソ連にも攻撃を開始しました。 ドイツのヒトラーはフランコに自己 の陣営に加わることを提案し、内戦 中ソ連に指導された共産党の圧政と 迫害を経験したスペイン人の中に は、ドイツと同盟しソ連と戦うこと を主張する人も少なくありませんで したが、フランコは中立を保ち世界 大戦には参加しませんでした。これ は疲弊した国土を回復するために賢 明なやり方でした。ただソ連と戦う ために個人的に義勇軍を組織して出 征した人々もありました。

スペイン国内の政治においては、フランコは一党独裁制を敷きました。 以前共和政府の側に立った人々は迫 害されるようになりました。そうい う雰囲気の中で、聖ホセマリアはい かなる政治的党派にも偏らないという方針を堅持しました。メンバーの中には反政府の人もいましたため、戦争中に共和国側に与したため、人の助けの手を差し伸べていました。 時腕を伸ばし掌を広げるあいた。 時腕を伸ばしずを広げるあいたで 流行していましたが、神父はで その動作をしなかったそうです。

またナチス・ドイツは共産主義を打ち負かす頼れる味方だというインは少なく聞かれた宣伝に引かれてドイとの感を持つ人は少なくありませる。そんな中で聖ホセマリ人を関した。そんな中で聖ホセマリスト教的思想(の非キリスト教を標榜し、安楽死法なトリックを実行した。をでいた)を正確にいまり表も追害していたり表明していた。

1936年7月スペイン内戦が勃発した とき、聖ホセマリアはバレンシアと パリでオプス・デイを始めようと計画していましたが、この計画は戦争になって中断しました。1939年3月でいました。1939年3月でいました。1939年3月でいました。内戦が終わりでの使徒職のではないでのではました。となったが、国土は戦争によって、ました。となっていました。となっていました。となってがよってがあるとなってがあるとなってがある。

尾崎明夫

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/sei-josemaria-41/ (2025/10/29)